

### 第3回しおがま街フォトロゲイニング大会開催される

NPO法人角館里山再生プロジェクト  
秋田県森林ボランティア団体

令和5年6月11日(日)に、宮城県塩竈市において標記の大会が開催されました。

NPO法人角館里山再生プロジェクトでは、今までに税事業や多面的機能保全事業などの様々な事業を通じて角館の里山を整備してきましたが、その最終目的として里山整備をとおした、地域興しに繋がるフォトロゲイニングの開催を模索してきました。

先日はフォトトレッキングと称して角館でミニ大会を開催したところですが、フォトロゲイニング大会を正式に開催するには、いろいろな条件があり、他の地域で開催される大会にも参加することが必要です。今回は、第一歩として塩竈市で開催される大会に参加しましたのでその概要をお伝えします。



第3回しおがま街フォトロゲイニング大会 コントロール位置説明 2023年6月11日(日) 緊急連絡先 佐々木 裕行 080-4793-5227 場所 マリンゲート塩釜

<p><b>11</b> <b>陸港の碑</b> 陸港の碑(陸港)は、陸港地区の発展を記念して、昭和25年に建てられた。陸港地区は、戦後復興の象徴として、多くの人が移住してきた。この碑は、陸港地区の歴史を伝える重要なシンボルとなっている。</p>	<p><b>23</b> <b>おさかなミュージアム</b> おさかなミュージアムは、海の生き物に関する展示が充実している。海の生き物の生態や、海の生き物の役割について詳しく説明されている。また、海の生き物の展示も非常に興味深い。</p>	<p><b>36</b> <b>SPOON NO RESORT</b> SPOON NO RESORTは、自然豊かな環境の中で、リラックスできるリゾート施設。自然豊かな環境の中で、リラックスできるリゾート施設。自然豊かな環境の中で、リラックスできるリゾート施設。</p>	<p><b>56</b> <b>塩釜水産物仲卸市場</b> 塩釜水産物仲卸市場は、新鮮な水産物を扱う市場。新鮮な水産物を扱う市場。新鮮な水産物を扱う市場。新鮮な水産物を扱う市場。</p>
<p><b>12</b> <b>千賀の漁船(塩釜港)</b> 千賀の漁船は、千賀地区の漁船。千賀地区の漁船。千賀地区の漁船。千賀地区の漁船。</p>	<p><b>25</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>37</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>58</b> <b>白石蔵造邸</b> 白石蔵造邸は、白石蔵造の邸宅。白石蔵造の邸宅。白石蔵造の邸宅。白石蔵造の邸宅。</p>
<p><b>14</b> <b>本塩蔵(天徳庵)</b> 本塩蔵は、本塩蔵地区の蔵。本塩蔵地区の蔵。本塩蔵地区の蔵。本塩蔵地区の蔵。</p>	<p><b>26</b> <b>高山塚穴群</b> 高山塚穴群は、高山塚穴の群。高山塚穴の群。高山塚穴の群。高山塚穴の群。</p>	<p><b>38</b> <b>龍蔵神社(龍蔵神社)</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>59</b> <b>海鮮せんべい塩釜</b> 海鮮せんべい塩釜は、海鮮せんべいの塩釜。海鮮せんべいの塩釜。海鮮せんべいの塩釜。海鮮せんべいの塩釜。</p>
<p><b>15</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>27</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>40</b> <b>野田の玉川の碑</b> 野田の玉川の碑は、野田の玉川の碑。野田の玉川の碑。野田の玉川の碑。</p>	<p><b>60</b> <b>多賀山(塩釜港)</b> 多賀山は、多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。</p>
<p><b>16</b> <b>龍蔵神社(龍蔵神社)</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>28</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>41</b> <b>おはぎアートよがき</b> おはぎアートよがきは、おはぎアートよがき。おはぎアートよがき。おはぎアートよがき。</p>	<p><b>66</b> <b>多賀山(龍蔵神社)</b> 多賀山は、多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。</p>
<p><b>17</b> <b>龍蔵神社(龍蔵神社)</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>29</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>42</b> <b>西の山麓遺跡</b> 西の山麓遺跡は、西の山麓遺跡。西の山麓遺跡。西の山麓遺跡。</p>	<p><b>69</b> <b>龍蔵神社(龍蔵神社)</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>
<p><b>18</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>30</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>48</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>70</b> <b>多賀山(龍蔵神社)</b> 多賀山は、多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。</p>
<p><b>19</b> <b>龍蔵神社(龍蔵神社)</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>31</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>50</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>70</b> <b>多賀山(龍蔵神社)</b> 多賀山は、多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。</p>
<p><b>20</b> <b>龍蔵神社(龍蔵神社)</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>32</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>51</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>70</b> <b>多賀山(龍蔵神社)</b> 多賀山は、多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。</p>
<p><b>21</b> <b>龍蔵神社(龍蔵神社)</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>33</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>54</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>70</b> <b>多賀山(龍蔵神社)</b> 多賀山は、多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。</p>
<p><b>22</b> <b>龍蔵神社(龍蔵神社)</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>34</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>55</b> <b>龍蔵神社</b> 龍蔵神社は、龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。龍蔵地区の神社。</p>	<p><b>70</b> <b>多賀山(龍蔵神社)</b> 多賀山は、多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。多賀山地区の山。</p>

主催:みやびフォト大会実行委員会 共催:NPO法人 HASHIRU 後援:塩釜市 セツ高町 河北新聞社 協力:TEAM229

そもそもフォトロゲイニングとは、全国的にあちこちで開催されているスポーツであり、東北では太平洋沿岸地域で震災復興も兼ねて盛んに開催されています。街中や山中などにポイント地点が事務局によって設けられ、参加者は決められた時間内にいかに多くの地点を回ってポイントを得るかを競います。今回は、会場で競技直前にポイントが記載された地図(2万5千分の1)と、ポイントに到着した証拠としてそのポイントでどのような写真を撮るかを指示した書面が渡されました。

40地点が地図に載っていますが、我々が参加した4時間コースではとても回りきれない範囲ではないので、それぞれの参加者は15分ほどの作戦タイムで行き先を決めます。今回はお揃いのユニフォームを着たランナーチームが多く、その方達は常に走っていました。中には36km走ったという強者もいました。



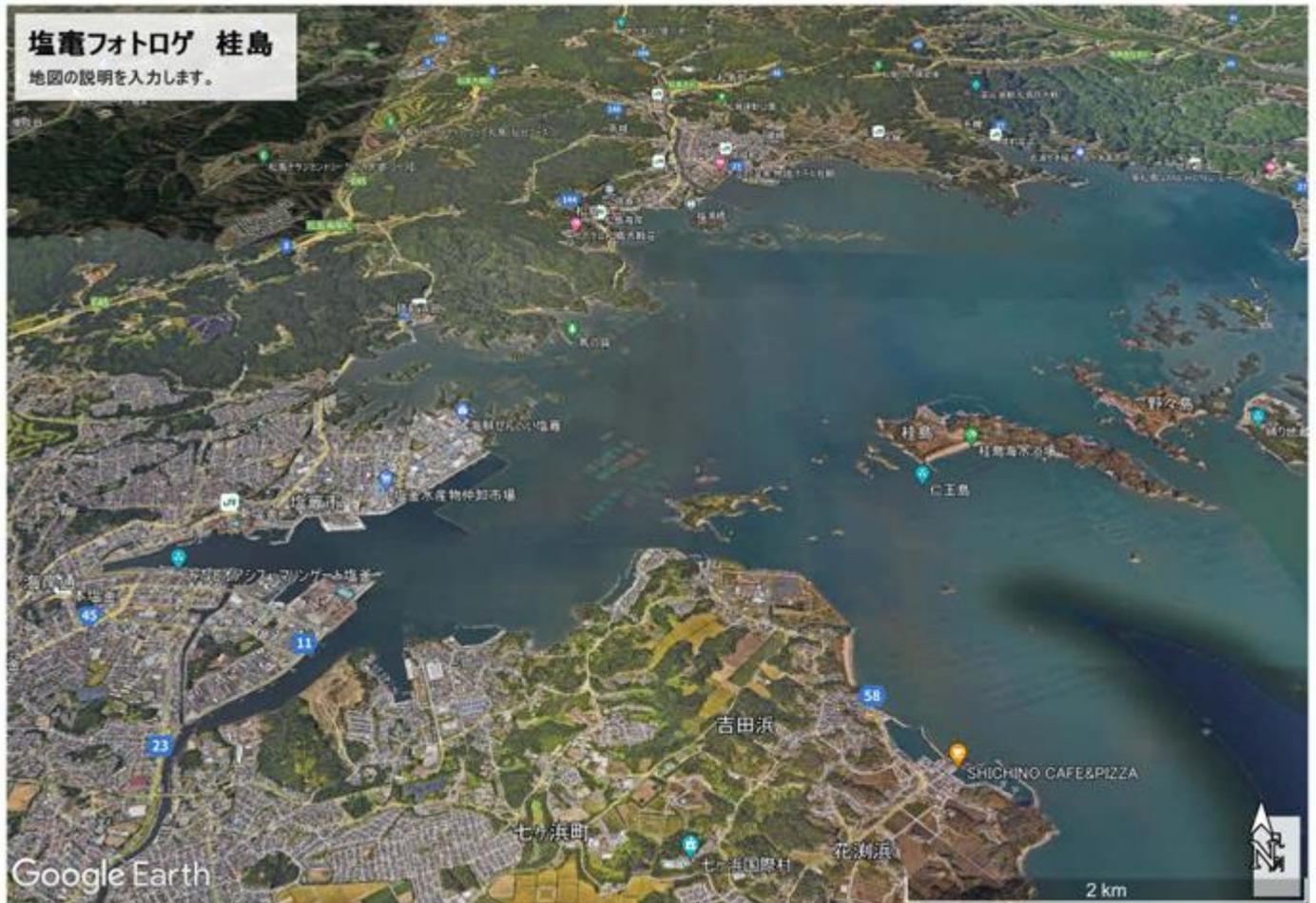
会場となった3階建ての船の形をしたマリンゲート塩釜です。津波の際の避難所になっており、仙石線の本塩釜駅の隣にある塩釜イオンから津波の際の空中避難路が400mほど続いています。



受付開始は9時ですが、3階のマリンホール大会議室には、既に参加者が集まっています。それぞれ荷物を置いて陣地にしています。競技中はここに荷物を置いていきます。



時間になって大会事務局からルールや今日のコースの説明などがあり、37チーム85人の参加者にいよいよ地図とポイント図面が渡されます。各チームは15分ほどの作戦タイムで行き先を決めます。我々は3人が高齢者のため遠方まで行くのは無理と判断してポイントの高い地点の多い桂島へ渡航することにしました。



桂島までは船で20分ですが、競技開始が10時20分、船出が11時なので出航までの40分を使って近場のポイントを回ります。(中央右手の一番大きな島が桂島)



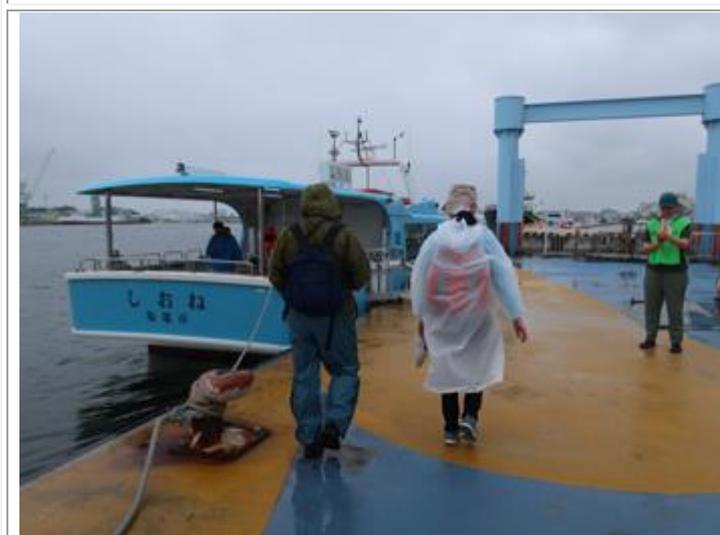
マリンゲートのテラスがスタート、ゴール地点になります。10時20分に一齐にスタートしました。天気予報のとおり10時過ぎから雨が降ってきました。気温が上がらなかったのが運動するには善かったかも。



最初のポイント地点の築港の碑です、一番近い所にあるのでポイントは11点と一番低いです。次が千賀の浦緑地ここも12点です。



渡航前の3つめは、橋本蒲鉾店ですが、近い割にはポイントが高く28点しかも蒲鉾(250円)を食べている写真を撮るとボーナス点が10点貰えます。地元の店と連携して名物も食べてもらおうというなかなか良い企画です。



マリンゲートに戻り、桂島行きフェリーに乗ります。同じような作戦を立てたチームが結構いて、船は満員です。



船を下りて直ぐの桂島船着き場は32点、坂を登った松崎神社は38点とここまでは順調でしたが、42点の西の山展望台に行く道が分からず、他のチームもあちこち迷っているので、51点の海水浴場に向かうことにします。



桂島海水浴場は51点ですが、亀仙人？が給水所で食べ物を配っており一緒に写真を撮るとボーナス5点を貰えます、おいなりさんとお茶をいただきました。右は観月崎展望台で2番目に高ポイントの69点の地点ですが、展望台まで行ってからの写真と勘違いしましたが、確認したら登り口と書いてあり戻ってから写真撮りました、高得点の意味が分かりました、説明書きはちゃんと読みましょう！



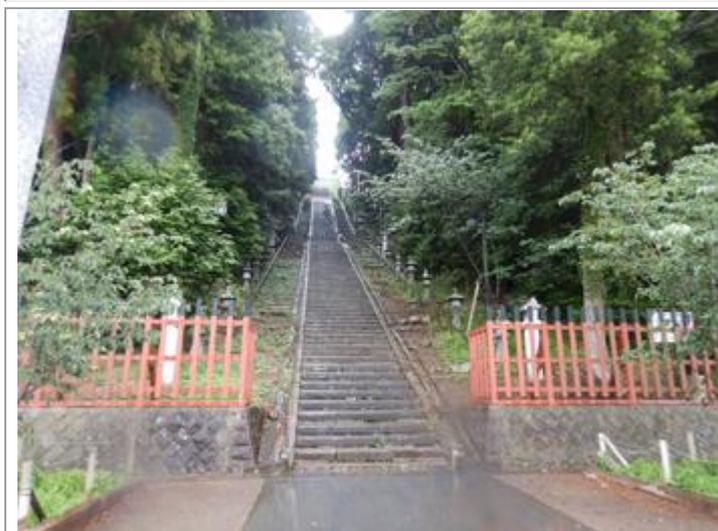
西の山展望台は42点ですが、逆方向から来ると分かりますが、松崎神社の裏を回った歩道を歩くので先ほどは気づきませんでした、なかなかトリッキーです。神社から港に行く道路に戻り一度山に上がったので道が不明になり、藪中の細道を下りると海苔の養殖設備に着きました、27点、港の近くですがガケを下りるので難所です。



帰りは12:25分発の塩釜行きフェリーに乗ります。実はここで12:30発と勘違いした青年二人が乗り遅れました。閉会式ではちゃんと時間を確認しなかったのが反省している、とのことでした、14:00発が次の便なので、もちろん大減点です。



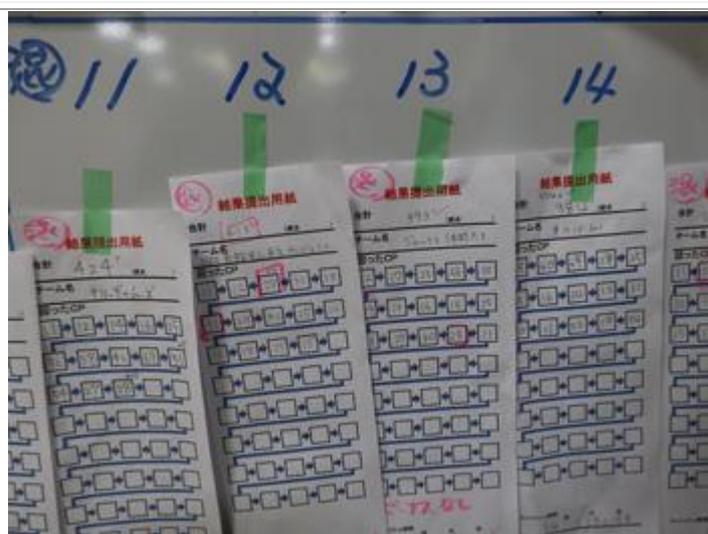
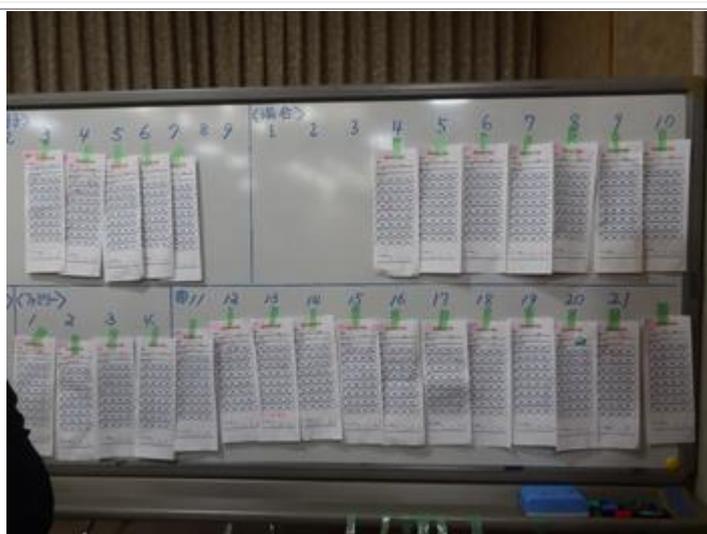
塩釜に戻り、本塩釜駅前で14点、塩釜神社に向かい鹽竈百人一首道標16点と順調です。



左上の鹽竈神社の表坂は18点、鹽竈神社東参道は25点と急坂を上り下りして大変でしたが、東参道の下り坂の途中には大正時代の民家を公開しており、中でお話を聞くことができました。



最後の地点は御釜神社で15点、時間が足りなくなり走ってゴールまで全力で行くと、後藤さんと庄子さんが見えませんが、残り38秒でやっと二人が揃い減点を免れました。ちなみに遅刻は1分につき30点減点になるので危ないところでした。もちろん間に合った中では一番最後でした。フェリーの往復40分を除けば3時間20分で2万歩近く歩きました！



我々は男女混合チームで参加しましたが、合計408点で22チーム中11位でした。最高点は800点を超えていましたが、高齢者主体のチームとしては見事な好成績です！



各参加コース毎に表彰が行われ、3位までが表彰状を手に入れました。受賞者は感想を述べましたが、首都圏を始め宮城県以外の方が多く、皆さん来年も来たいと言っていました。塩釜の魅力をもっと味わうことが出来たし、健康にも良いということで角館でも盛大に開催したいものだと感じました。  
(亀仙人の大場さんも閉会式に参加していました！)